



# 標茶町

発行 標茶町農業委員会  
 編集 農業委員会だより  
 広報委員会  
 川上郡標茶町川上4丁目2番地  
 電話 485-2111  
 (内線171・172)  
 FAX 485-1922

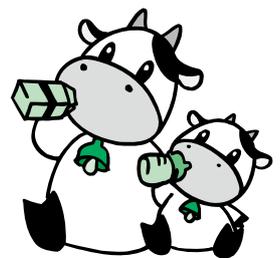
# 農業委員会だより



有限会社小林牧場での視察研修で小林代表取締役から説明を受けている様子

主な内容

2015年標茶町産業まつりに参加して.....	P. 2
農地パトロールを終えて.....	P. 2
選任委員の紹介.....	P. 3
農業委員視察研修会参加報告(共働学舎新得農場).....	P. 3
農業委員視察研修会参加報告(有限会社小林牧場).....	P. 4
ソーラーパネル発電設備の設置を検討されている方へ.....	P. 4
編集後記.....	P. 4



農業委員会総会は毎月 **25** 日に開催を予定しています

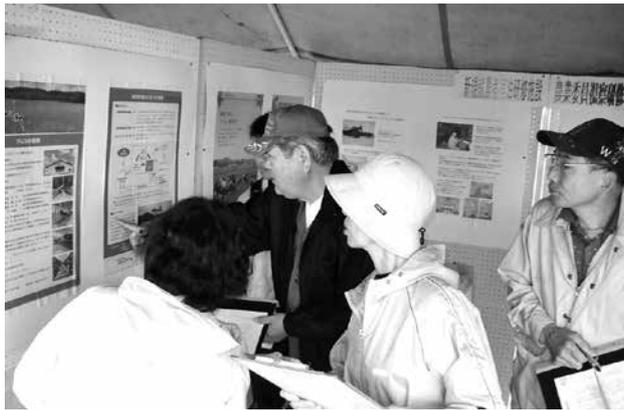
■ 許可申請書、農用地利用集積計画の申出、現況証明願書は、  
 当月の10日までに農業委員会に提出してください。

2015年 標茶町産業まつりにて

2015年9月13日・天気予報《曇りのち雨》

雨の心配をしながら曇空の下、今年も標茶町産業まつりが緑地公園で開催されました。農業委員会では農業者の方々や地域住民の皆様には農業委員会の役割や活動内容を知っていただくためのブース作りを検討し準備を進めてきました。

パネル展示コーナーでは「しべちゃ農業校」と「TACSしべちゃ」の視察研修の報告パネルや「家族経営協定推進計画」のパネルを展示しました。今年には来場者の方々がテントの中に入って間近に見ることができるよう配置したことで、小雨の中でも、ゆっくり見て頂けたように見受けられました。



産業まつりパネル展示の様子



しべちゃ牛乳試飲の様子

毎年行っているクイズ・アンケート調査や《しべちゃ牛乳》の試飲などは今年も好評で《しべちゃ牛乳》は300人以上の来場者に試飲していただき、「美味しい《しべちゃ牛乳》をどこで購入できるのか?」といった質問が多く聞かれました。《しべちゃ牛乳》の消費拡大を目指しての試飲ですから、販路拡大も課題の一つとして取り組んでいく必要性を感じました。

クイズは「ちょっと難しい」と感じる人が多かったようです。来場者の方々が楽しんで参加できる娯楽性の高いものの方が良いように感じました。その意味では粗品の配布や子どもたちにおもちゃの掴み取りなどは家族で楽しめて良かったと思います。農業者アンケートは農業者の方々の大切な意見ですから、問題を農業委員会で共有して今後の活動に生かしていきたいと考えていきたいと思えました。

農業委員会相談コーナーでは、相談コーナーを開設するも案件はありませんでした。勿論、「産業まつり」という会場ですけれども相談するということはできませんが、農業委員会に相談窓口がある

ということを農業者の皆さんに知っていただくことが大切かと思えます。そのために「相談コーナー」という看板があれば、より分かりやすかったかと思えました。

農業委員会として参加した《ロール転がし》では競技者も応援者も一緒に熱気溢れる時を楽しむことができました。

最後に、《産業まつり》に携わった各関係機関や団体の皆様には本当にご苦労様でした。秋晴れの空の下とは言えませんでした。来場者の方々と一緒に楽しい時間を共にして農業委員会を身近に感じて親しみを持っていただけたら、農業委員一同、今後の更なる活動の励みとなることと信じています。来年もぜひこの会場で来場者の方々とお会いできることを願っています。そして来年こそは、農業委員会は《ロール転がし》で3位入賞を目指しましょう!

(農業委員 橋 澄子)



農地パトロールの様子

農地パトロールを終えて

農業委員会の年間業務の一環である農地パトロールを10月15日から11月4日にかけて全町4地区に分かれて実施した。今年度は主に贈与税・不動産取得税の納税猶予を受けた農地592ヘクタールについて重点的に調査を行い、私共、嶋中委員、大泉委員、甲斐委員、佐藤は磯分内・弥栄地区の129ヘクタールの調査を行った。いずれの農地も全地が有効利用されていることを確認した。

最近、現地調査の際に感じることもある。自走ハーベスター等、大型機械の利用の影響もあるだろうが、草地の一番面積の多い外周部分を刈らずに残していたり、傾斜のきつい部分や狭くて使いづらい草地、湿地等が利用されずに残っていることが散見される。効率を考えると時間がかかってしまうが、無駄なく全地を有効利用してもらいたいものである。

また、現在標茶町は原則、農業振興区域農用地区域の枠組みに入っているが、草地として利用が難しい部分については早急に見直しを進め、植林を奨励する等の施策が必要でないかと考える。土砂の流出や水害を未然に防ぐためにもこれから重要性を増すであろう。

(農業委員 佐藤 肇)

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日

購読料 月七〇〇円

申込先 農業委員会事務局

経営とくらしを応援!!

6月16日付で、農協推薦の選任委員に新たに就任されました。

【農協推薦による委員】



高松俊男 (中オソ) 農政部会

この度、農協推薦により選任された高松です。

酪農情勢の厳しさが続く中で、国民への十分な情報提供がなされないまま参加国にて大筋合意されたTPPなど不安の多い状況ではありますが、経営の安定を目指し、維持発展させるためにも、農地の資産価値の低下を招く生産者減少による農地取得意識の低下には注意と努力が必要と感じています。

町・農協・農業委員会そして町民が連携し牛乳消費拡大や乳製品・食肉・野菜などの地産品の取組み、新規就農など担い手対策、家族経営・後継者などの各種取組みを更に講じていくことにより、農地が有効に活用され、更に生産性高く維持されることが大切です。

厳しい状況下ではありますが皆様方のご協力を仰ぎながら、農業委員として任期を務めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

退任された農業委員、農協推薦 千葉孝一さん 本当にお疲れ様でした。

農業委員視察研修に参加して

新得町 共働学舎新得農場

10月31日、農業委員10名、事務局3名で共働学舎新得農場を視察して来ました。

共働学舎は41年前、宮嶋望さんのお父さんが長野県で教員を退職した後、勉強についていけなくて落ちこぼれた人、障がいをもった人、心に病のある人達を何とか社会に貢献させたい一心で、当初10人で長野に共働学舎が創設されました。新得農場は37年前、宮嶋望代表が大学卒業と同時に、6人で放牧型酪農と畑作を始めたそうです。6人の中に勉強ができなくても野菜作りが上手な人や元暴走族でしたが物作りが上手で伸び伸びそこで生活する人など。

共働学舎での生活は困難が多くありましたが、現在は70名の人が共働学舎において共同生活をしております。



宮嶋京子さんより施設の説明を受けている様子

共働学舎で生産される生乳はチーズ加工に使われておりますが、現在は生乳の生産がチーズの販売量に対して足りなくなってしまうほど消費されているようです。

色々な理由で心身に重い障がいを抱えてしまひ社会での居場所を見つけられないでいる方々がたくさんいると思います。新得農場では居場所があって大地に根を下ろして働く喜びと生きがいをもって生活を営んでいる所が新鮮で感銘を受けました。

経営の内容ですが、総頭数110頭で半分は搾乳牛ですが、特にチーズ作りに適している「ブラウンスイス」を多く飼養しています。牛舎の四隅に炭を置き、微生物の働きを活発にするなど牛の健康維持に工夫をされてきました。チーズ作りは、宮嶋望社長が最初共和町で学び、更にフランス人リベール氏に教えていただいたので、1998年オールジャパンナチュラルチーズコンテストで最高賞受賞、2010年にはワールドチャンピオンコンテスト、セミハード部門で銀賞を受賞するなど数々の賞に輝いております。2004年から共働学舎のチーズが認められ、六次産業支援として「JRA」から助成を受け販売しておられました。

宮嶋代表は不在でしたが、寒い中私たち農業委員研修に最後まで笑顔で接してくださいました京子夫人に大変感謝しております。「ラクレットチーズ」の作り方や、作業の様子も2階の窓から見学させていただき更にチーズの試食など私たちを受け入れていただき大変良い研修となりました。

現在、70人が共働学舎新得農場で生活しております。ここで出会い結婚され子どもが産まれ、小中高校生、大学生と成長された方。共働学舎で生活する子どももそばで生活したいと、定年退職後移住して第二の人生を始めた方。新規就農チーズの職人を目指し研修されている方。様々な方々がここで生活されています。



チーズ加工の説明を受けている様子

宮嶋ご夫妻のご苦労は大変なものだと思います。人間として生きることを学び新得で暮らす共働学舎の人たちは、「自然と一体になっている方が高い質を作り出せる」と37年の経験が力強い信念となっていると思いました。

「ラクレットチーズ」が生まれ販売でも人気があるのではないのでしょうか。帰宅後、パンにチーズをのせ、オーブンで焼き美味しくいただくことができました。家族にも好評でした。

今回、農業委員として研修に参加させていただいたことに感謝いたします。

(農業委員 甲斐 やす子)

農業委員視察研修に参加して  
江別市 有小林牧場

10月30日、午後から江別市西野幌の小林牧場さんに伺いました。

現在営農されている場所に落ち着くまで、厚別熊の沢、厚別上野幌と3回の移転をしているとのことでした。平成22年に、畜産担い手育成総合整備事業にて、フリーストール牛舎300頭、搾乳舎及びパーラーシステム20頭W建設、その他関連施設を整備されています。

搾乳については4群に分け、前期2群、後期2群と効率よく搾乳されています。後期の牛乳は新札幌乳業さんにて「小林牧場物語」として、さわやか牛乳、ヨーグルト、飲むヨーグルト、チーズ5種類と加工販売されています。



排水処理施設の説明を受けている様子



生乳出荷について説明を受けている様子

特に気になったのが、プレートクーラーと水との割合です。乳量1に対して水1とし効率よく冷却し、バルククーラーの消費電力の低減、冷却後の温まった水も全量を牛の給水に当てているとのことでした。また、出荷できない牛乳は全てパスタライザー(初乳加温処理装置)を使い子牛の哺乳に使われているとのこと。昔は牛乳を捨てて粉ミルクを買っていたので、それを止めたかったと話されておりました。また、哺乳瓶も自動洗浄機にてしっかりと管理、保管されておりました。

また、搾乳施設から出される洗浄水は排水浄化装置施設でヨシを使い洗浄されています。ヨシはもともと水質浄化に優れた植物です。汚水処理施設としては自然の力を利用した素晴らしいものだと思います。また、維持管理費も初期投資で済むとのこと。

大都市札幌に隣接しパーラー排水処理やバイオガスパラントなど大型施設を有

し産学官連携した都市型農業を展開されています。バイオガスパラントでは一日に1500キロワットの発電がなされ、農場の経費削減にかなり効果をあげているとのこと。なお、ふん尿を低温発酵しメタンガス発生後に出る固形分を自然高温発酵させ大腸菌等を死滅させ、敷料として再利用するなどの工夫には非常に感心させられました。

搾乳作業するアルバイトは農場に近い家畜に興味のある大学生など、学業に影響の無いよう社長の配慮も伺えましたが、従業員の確保や次世代への引継など悩みも伺い知る事ができ、今後の小林牧場の展開にも注目させていただきます。しながら、研修を終えました。

(農業委員 笹木 真一)

ソーラーパネル発電設備を検討されている方へ

農地にソーラーパネル発電設備の設置はできないことはご存知のことと思いますが、たとえ耕作していない部分といえども地目が畑・牧場の場合や農業振興区域内農用地区域に指定されている場合は、農地法や農業振興地域の整備に関する法律に基づく手続きが必要になる場合があります。

設置を検討する際、その土地にどのような法律の網がかかっているのか、ご確認ください。

ご相談は、農業委員会・役場農林課にて承ります。お気軽にご相談ください。

皆さんよろしくお祈りします

4月1日付で事務局職員に異動がありました。( )内は前職名

●役職の変更

事務局長

村山 裕次

(事務局次長兼振興係長)

●任用する職員

振興係長

若松 務

(農林課畜産係長)



編集後記

農協法が改正されTPPもほぼ決定しつつある。農業情勢もいよいよ厳しさを増しそうだ。これからは方向性を選んで行かないといけないようだ。ただ、これは農業だけじゃなく、他産業や消費者も同様である。これは逆に言うとならば幅が広がったとも言える。だから、選ぶ方向を間違わないようにする事が、我々も消費者もとても重要になってくると思う。だから政府は、かっこつけの政治で金をばらまくのではなく、もっと我々よりもより本場に日本の将来の事を考えた政策をとってくださる事を願ってやまない。そして、将来の日本を背負っていく子どもたちや若者に胸を張れるような国であるように願う。

(広報委員 嶋中 勝)